

兵庫県多可町 トンネル長寿命化修繕計画の概要

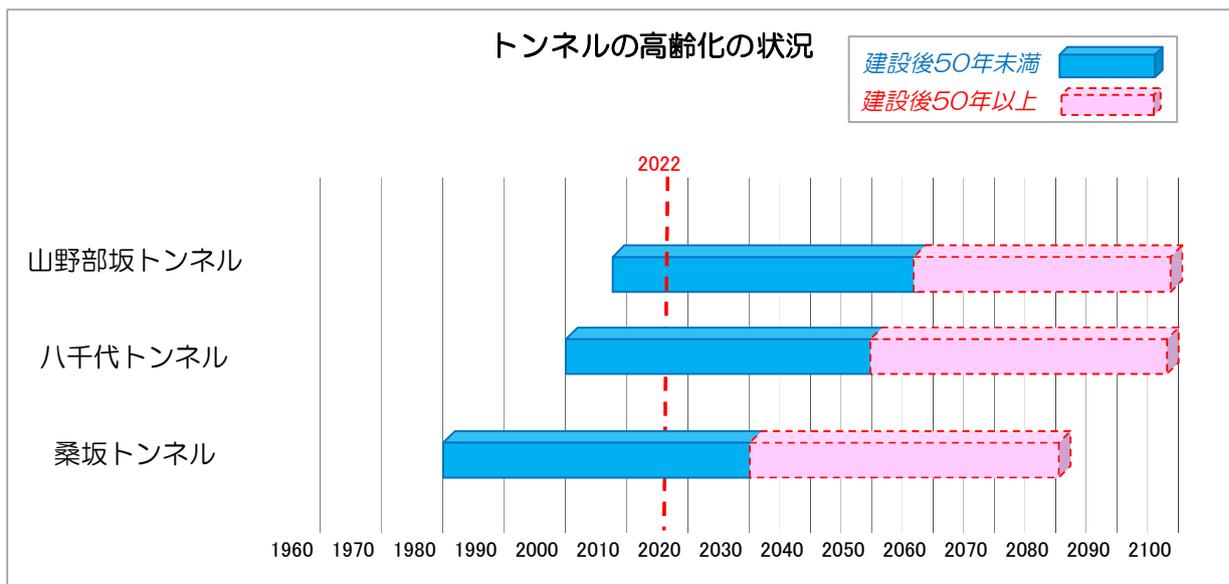


あまんじゃこ「たか坊」

令和4年3月
多可町建設課

1. トンネル長寿命化修繕計画の背景

- 多可町が管理する道路トンネルは、現在3トンネルがあります。
- 「桑坂トンネル」が建設から37年が経過している他は、20年以下である。
- 多可町では、道路トンネルの他に橋梁等、多くの道路施設管理しており、それらの多くが高齢化を迎えようとしています。このような背景から、今後増大が見込まれる道路施設の補修に対応するため、道路トンネルにおいても、計画的な補修が可能となるよう適切な予算計画を行い、安全性の確保とコスト縮減を図ることが必要です。



2. 対象トンネル

- 令和3年度の長寿命化修繕計画の策定は、対象3トンネルについて計画を策定します。

トンネル名	路線名	延長 (m)	施工年	年齢
山野部坂トンネル	山野部坂本線	658	2013年	9
八千代トンネル	赤坂中三原線	411	2005年	17
桑坂トンネル	桑坂線	185	1985年	37



山野部坂トンネル（9歳）
健全の診断判定区分Ⅱ



八千代トンネル（17歳）
健全の診断判定区分Ⅱ



桑坂トンネル（37歳）
健全の診断判定区分Ⅱ

※健全度判定：橋の状態を四段階で表す値で、「健全：Ⅰ」、「予防保全段階：Ⅱ」、「早期措置段階：Ⅲ」、「緊急措置段階：Ⅳ」となります。

3. 定期点検

○計画的な維持管理を行っていくためには、トンネルの健全状況を把握することが重要となります。そのために、日常点検、定期点検によりトンネルの健全状態を把握していきます。また、地震や台風などの自然災害時には、異常時点検を行います。

日常点検

道路パトロールによって実施します。

異常時点検

日常点検で変状・異常が認められた場合に実施します。

定期点検（法定点検）

基本的に5年に1回の頻度で「道路トンネル維持管理マニュアル」による定期点検を実施します。

臨時点検

異常気象時、地震時等により災害が発生した場合もしくは、その恐れがある場合と異常が発見されたとき、主にトンネルの安全性を確認するため点検を実施します。

4. 多可町の管理理念

○多可町では、次の管理理念のもと「トンネルの長寿命化修繕計画」の策定及び、管理を行います。

1. 基本理念（基本姿勢）

安全・安心な道路橋の維持を目指して

～適切な維持管理による道路環境の確保～

2. 方針（進める際のルール）

- (1) 定期点検や補修対策を適切に実施するとともに、状況に応じた速やかな緊急対策を行い、道路施設の安全性を確保します。
- (2) 長寿命化を図るとともに、維持管理の効率化を図ることで、ライフサイクルコスト^{※1}を抑制します。
- (3) PDCAサイクル^{※2}により常に見直しを行い、個々の道路施設の安全性を確保するとともに、より効率的な修繕計画の実現を図ります。

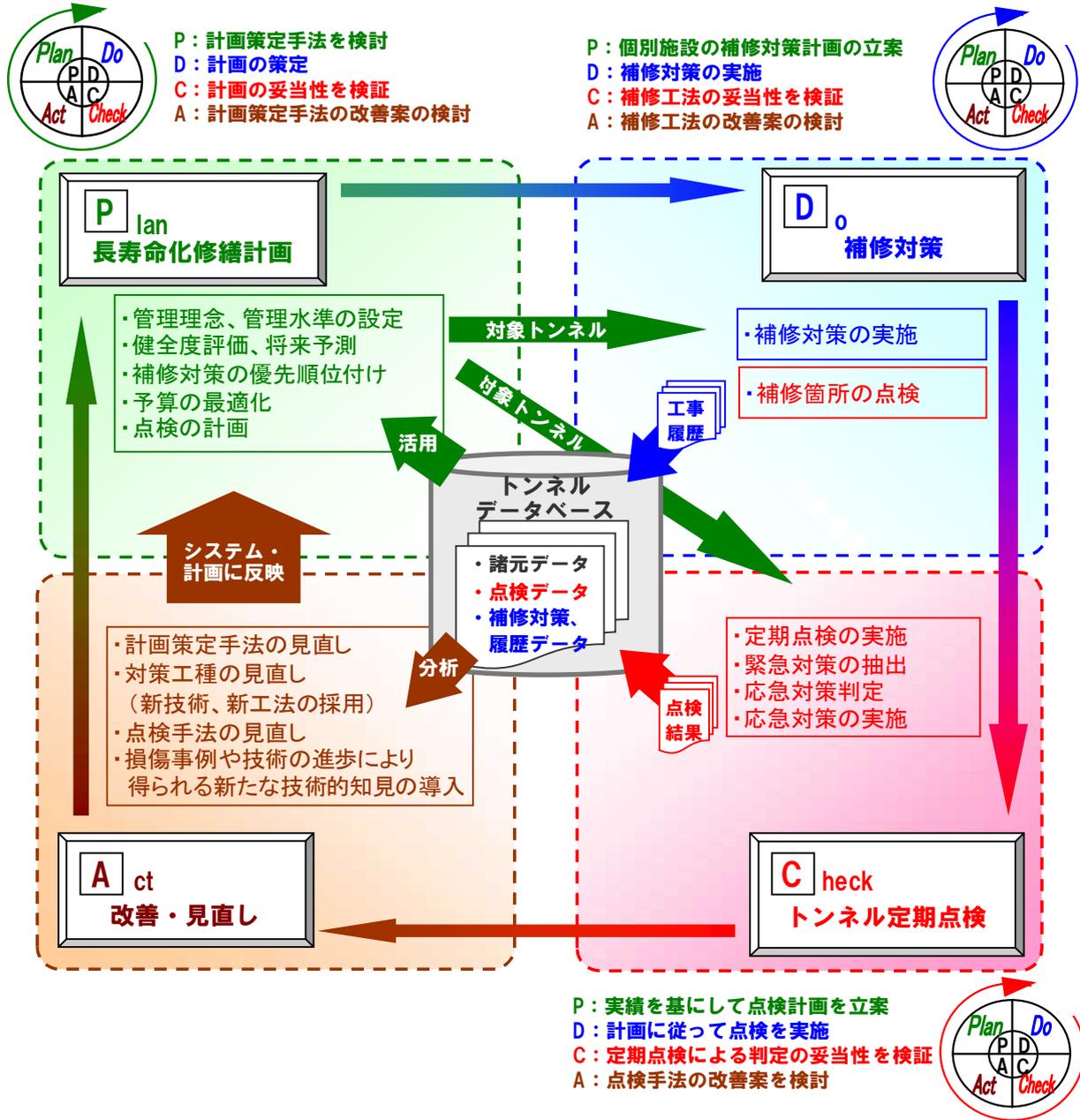
※1: ライフサイクルコスト: 道路構造物を計画・設計・工事し、その構造物を維持管理して、最後に取り壊し・廃棄するまでの、構造物の全生涯に要する費用の総額のことをいいます。

※2: PDCA サイクル : Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Act(改善)の 4 段階を順に繰り返すことによって、業務を継続的に改善していくマネジメント(管理)手法のひとつです。

3. 戦略（具体の進め方）

- (1) 全ての橋梁及びトンネル等に対して定期点検を着実に実施します。
- (2) 深刻な損傷が発見された場合には、速やかに必要な緊急対策を実施します。
- (3) 計画的な補修対策を実施します。
- (4) データベース整備による施設管理データの有効活用を行います。
- (5) 適宜、長寿命化修繕計画の見直しを行います。
- (6) 新技術の活用により、道路施設の安全性の確保と維持管理の効率化を図ります。

PDCAサイクルのイメージ



5. 担当部署

○兵庫県 多可町 建設課
TEL : 0795-30-0855